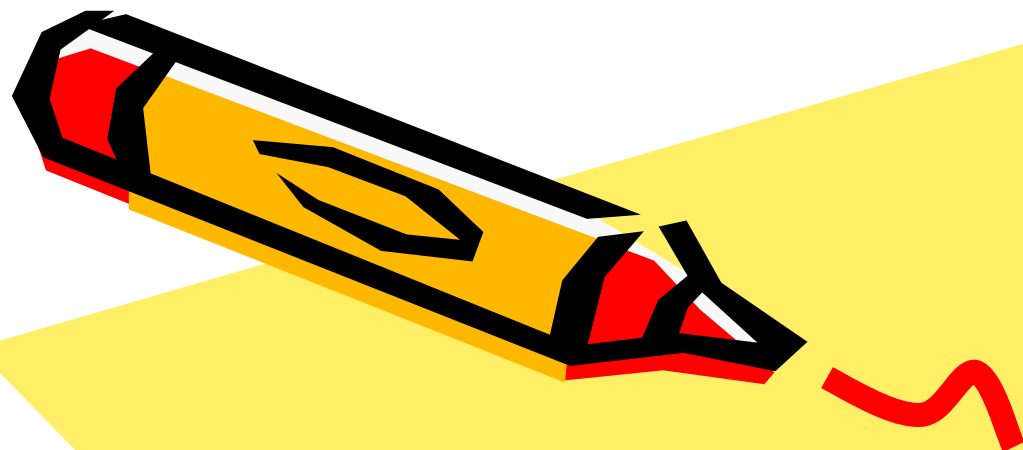
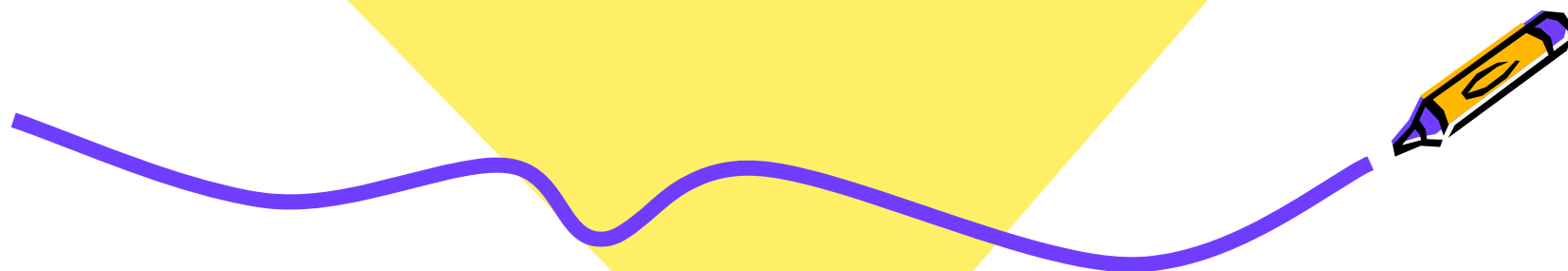




幸手市まち・ひと・しごと創生 市民会議(第1回)



平成27年11月24日(火)

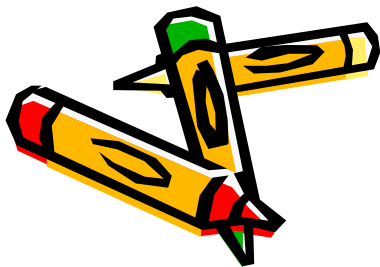
13:30 ~ 15:30(予定)

「まち・ひと・しごと創生」 について



まち・ひと・しごと創生が 目指すもの

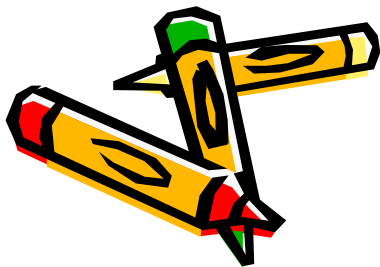
- 2008年に始まった人口減少は、今後加速度的に進む。
- 人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷になる。
- 国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保する。
- まち・ひと・しごと創生は、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す。



なぜ、まち・ひと・しごと創生か

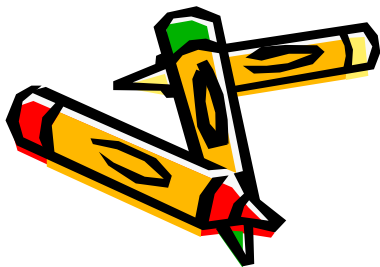
- 大都市における超低出生率・地方における都市への人口流出 + 低出生率が日本全体の人口減少につながっている。
- 東京一極集中を是正し、若い世代の結婚・子育て希望を実現することにより人口減少を克服。
- 人口減少問題は地域によって状況や原因が異なる。
- 地域特性に応じた処方箋が必要。

- 国は、平成26年12月に長期ビジョン及び総合戦略を策定



「地方人口ビジョン」・ 「地方版総合戦略」の策定

- 全ての都道府県及び市町村は、平成27年度中に「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」の策定に努める。
- 地域経済分析システム等を活用し、地域特性を把握した効果的な政策立案。
- 明確な目標とKPI(重要業績評価指標)を設定し、PDCAサイクルによる効果検証・改善。

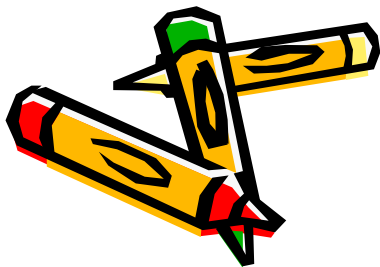
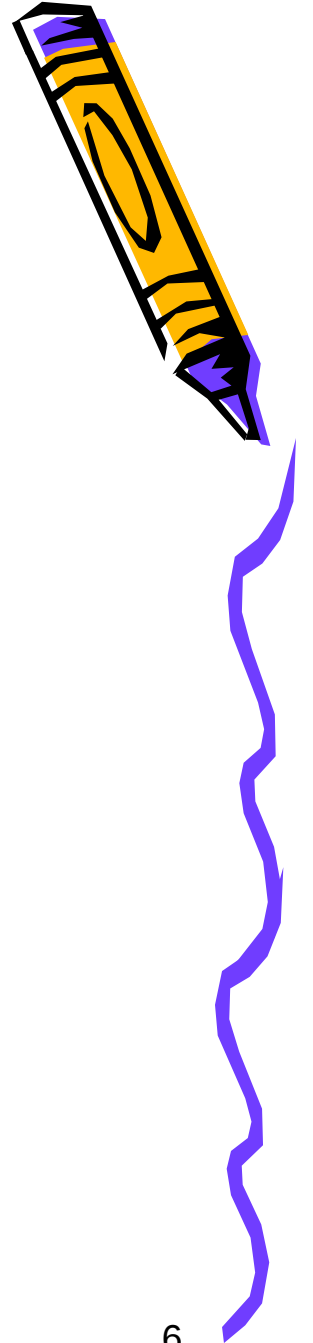




- 地方公共団体を含め、**産官学金労言**(産:産業界 官:地方公共団体や国の関係機関 学:大学等の高等教育機関 **金:金融機関 労:労働団体 言:メディア**)、女性、若者、高齢者などあらゆる人の協力・参画を促す。
- **地方議会も策定**や検証に積極的に参加。
- 各々の地域での自立的な取組と地域間連携の推進。



幸手市人口ビジョン及び 幸手市まち・ひと・しごと 創生総合戦略の策定 について



幸手市人口ビジョンの 位置づけと対象期間



- 幸手市における人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を提示する。
- 人口ビジョンは、幸手市まち・ひと・しごと総合戦略において、まち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策を企画立案する上で重要な基礎と位置づけられる。
- 対象期間は、**国の長期ビジョンの期間(2060年)**を基本とする。

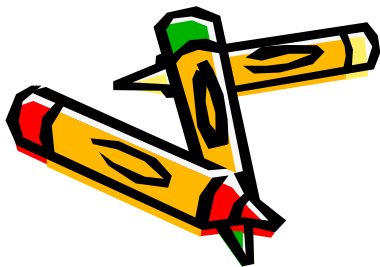


幸手市まち・ひと・しごと 創生総合戦略について



幸手市まち・ひと・しごと創生 総合戦略の位置づけと対象期間

- 幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、
幸手市人口ビジョンを踏まえ、地域の実情
に応じた今後5か年の目標や施策の基本的
方向、具体的な施策をまとめるもの。
- 対象期間は、平成27年度～平成31年度
の5年間とする。



幸手市まち・ひと・しごと 創生総合戦略への記載事項

- 国の総合戦略が定める政策分野を勘案して、幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略における政策分野を定める。
- また、**政策分野ごとの5年後の基本目標**
(実現すべき成果に係る**数値目標**)を設定する。



[国の総合戦略が定める 政策分野]

地方における安定した雇用を創出する。

地方への新しい人の流れをつくる。

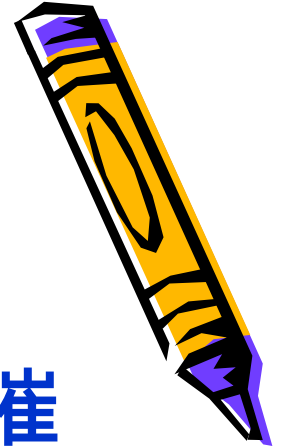
若い世代の結婚・出産・子育ての希望を
かなえる。

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを
守るとともに、地域と地域を連携する。



策定体制

- 未来カフェ「幸手の未来を語ろう」の開催
(若年層及び子育て世代)
- まち・ひと・しごと創生市民会議(有識者会議)
- 基礎調査(アンケート調査)
市民の結婚、出産、子育てに関する調査
転入転出者の調査
高校、大学等卒業後の進路希望など若者のライフスタイルに関する意識調査



庁内策定体制

ア 幸手市人口問題対策会議(副市長、部長級)

イ 職員検討委員会

庁内の検討機関として、職員検討委員会を組織しワークショップを中心に総合戦略に盛り込む施策の検討等を行う。



まち・ひと・しごと創生市民会議

- 幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定、推進に向けて意見を聴取
- 学識経験者及び公募の委員(12名)で構成
- 任期は2年

